

栃木県立足利南高等学校 学校評価票 令和4年度 生徒テーマ：“未来をつかめ！”

学校組織目標：教育の質を高める総合学科・チーム足南
～生徒も先生も「学び、学び合う」学校～

本年度の目指す生徒の姿

- 自分のよさや強みに気づいて、それを学校生活の中で発揮する生徒
- 目的意識や進路の自覚を深めて主体的に学び、学ぶことの楽しさを見出す生徒
- 様々な立場や考え方を尊重し、他者と協力して活動に取り組む生徒
- よい習慣や行動を身につけ、心と身体のバランスを保ち、健康を増進する生徒

取組の視点

生徒

- 「産業社会と人間」の意義を確認し、各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動等との有機的なつながりを意識しながら生徒の「自分探しの旅」を支援する。
- 生徒一人一人のよさや強みを認め励ましながら自己肯定感を高める。
- かかわりの中での生徒理解に努め、課題や問題に対する指導・支援につなげる。

教職員

- 日頃から感染防止対策の徹底を図る。地域の感染状況を適切に見極めたうえで、感染リスクの低減を図り、ICTも活用して学校行事や諸活動を安全に実施する。
- 原点に戻る（ねらいの意識化・明確化）。
- 優先順位、働き方改革と業務改善、ワーク・ライフ・バランスを意識する。

評価項目(具体的目標)	教職員評価				学校関係者評価		
	評価の観点(具体的方策)		評価結果	次年度以降への改善策	評価		ご意見・ご助言
目標(1) 学びのある授業	1) ICTの活用や協働的な学びの実現により、生徒一人一人が主役となり、自分の頭を使って解決に取り組んでいくような学びの実感の持てる授業を行う。	B	B	ICT機器を効果的に活用するための教員側の研修を充実させるだけでなく、体験的な学習活動を取り入れたりしながら、学びの実感が持てる授業を行う。Teamsの活用も積極的に進める。 観点別評価の在り方について事例研修を行い、共通理解を図ることで指導と評価の一体化を図る。	B	B	学校公開では、プロジェクトを使用した授業が印象に残っています。 リモート授業をすることで学びを継続できると思います。一人一台PCとTeamsを活用した個別最適な学びの実現を目指してください。
	2) 生徒の主体的な学びの活動をしっかりと「みとる」ことができるようにするため、教師自身が「学び、学び合う」ことによって観点別評価の方法を習得・確率する。	B			B		
目標(2) 居甲斐のある学校生活	1) 学校行事、部活動、生徒会活動を通して活動する喜びを体験させ、充実感や達成感を味わわせる。	B	B	次年度も教育活動と感染防止の両立を図り、生徒の主体性を育むことが出来る学校行事や諸活動を実施することによって、生徒の居場所をつくり、人間性や社会性を育て、望ましい集団づくりを行う。	B	B	コロナ禍で、学校行事を行えるありがたさを実感しました。制限のある中で、やりがいを見つけれられたと思う。
	2) 集団の中で各人の役割意識を高め、責任ある生徒を育てるとともに、人権や多様性を尊重し合う集団づくりに取り組み、いじめの未然防止を図る。	B			B		
目標(3) 「自分探しの旅」と進路実現	1) 「産業社会と人間」を中核としたキャリア教育の充実を図るとともに、進むべき進路やそのために必要な科目選択についての指導、支援を適切に実施する。	B	B	感染状況を適切に見極めながら各学年との連携を密にし、学校見学への参加やスクールインターシップなど校外での進路行事の実施に努め、キャリア教育の充実と生徒の進路意識の向上を図る。	B	B	感染症対策を行いながらの行事や各種活動の実施は大変ですが、インターシップは重要なキャリア教育です。校外からの講師や指導者なども取り入れると良いと思う。
	2) 進路に関する行事や個別指導を適切に実施し、生徒の強みを生かした進路実現を図る。	B			B		
目標(4) 心と身体の健康	1) 感染防止対策の徹底や保健指導・清掃指導の充実を図り、健康面・衛生面から生徒の学校生活を支援し、安全で清潔な過ごしやすい環境をつくる。	B	B	引き続き感染防止対策を徹底し、健康で安全な学校生活を送れるように指導・支援する。 生徒の抱える悩みや問題について教育相談の充実を図り、SCや関係機関との連携のもと学校生活への適応を支援する。	B	B	感染防止を徹底していただきました。生徒に寄り添い、その子話をじっくり聞いてあげて欲しい。
	2) 生徒や保護者が抱える問題や悩み等について教育相談の充実を図るとともに、教職員間の情報共有やSC・関係機関との連携を通して組織的な支援を行う。	A			B		
目標(5) 安全・安心な学習環境	1) キャリア教育の観点を踏まえて基本的生活習慣の育成を図り、規律ある行動と落ち着いた学習環境の維持・形成に努める。	B	B	生徒の規範意識を高めるとともに、基本的生活習慣を身に付けることの意義を確認し、自分で物事が解決できるよう指導・支援する。日頃から問題行動の予防と事故防止に努め、安全で良好な人間関係が築ける、落ち着いた学習環境維持に努める。	B	B	いじめ防止教育、人権教育では定期的に学校から家庭に通信を通して情報が入りました。何よりも大切なのは「自助」の精神です。SNSで人生を台無しにすることがないように、ご指導ください。
	2) 日頃の生徒観察、声かけ指導等により、事故防止や問題行動等の未然防止を図る。	B			B		
目標(6) 開かれた学校・地域との連携	1) ホームページの活用について検討し、内容の充実と更新体制の確立を図る。	B	B	部活動、学校行事の様子など、ホームページの更新を充実させ、適切な情報発信に努める。 校外の教育活動については可能な限り参加するとともに、コロナ収束後の活動再開に向けて必要な準備を行う。	B	B	コロナ禍で、ボランティア活動等できないことばかりでしたが、収束後は積極的に参加してほしいです。ホームページはとても充実しています。今後も更新し続けてください。
	2) 地域・PTA・同窓会・関係団体等との連携、ボランティア活動・国際交流への参加について、今般のコロナ禍の事情を踏まえ、可能な活動を選択して取り組む。	B			B		

AA=A AB=B AC=B BB=B BC=B CC=C